

協会この1年（昭和58年度）

小林博之*

★ 〔弔報〕

理事，隈元実忠先生（鹿児島大学教授）が，昭和59年1月9日，ご逝去されました。先生は，鹿児島地方の理事として当協会に情報連絡紹介など御活躍いただきました。謹しんで先生の御冥福を祈ります。

☆ 〔理事移動〕

北村音一理事（元九州芸術工科大学教授）が，定年退職で大阪市の方へ転居されました（3月31日）。

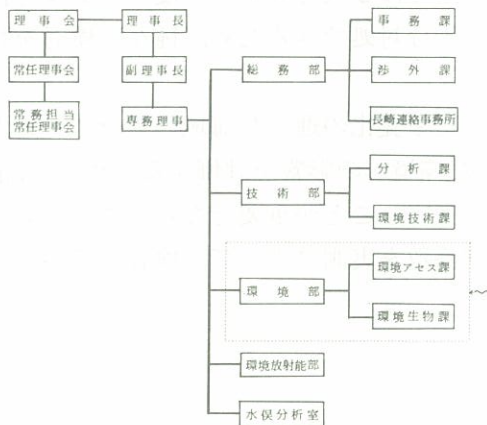
☆ 〔委託研究事業〕

科学技術庁より「原子力平和利用研究」および「原子力発電施設等緊急時対策技術調査等研究」と，鉄鋼業環境保全技術開発基金より「鉄鋼スラグからのカルシウムの溶出機構とその溶出防止技術に関する研究」を受けました。

☆ 〔機構改革〕

昭和59年4月1日より，次のように協会の機構を変更しました。

新組織



☆ 〔環境管理計画業務に着手〕

昨年度中頃より、環境管理計画にかかる新分野の業務が3～4件入り、協会あげてプロジェクトチームを編成し、とり組み中です。

☆ 〔講習会及び講演会〕

昨年度開催した講習会及び講演会は、次の3件でした。

1. 排水処理に関する講演会と座談会 約50名参加 福岡県と共催
2. 小規模事業場の排水処理に関する講演会と座談会 約30各参加 福岡県と共催
3. 原子力施設のモニタリング——TDLを中心として—— 約30各参加 九州大学と共催



昭和58年度 協会職員会誌発表（その2）

☆ Radioactivity of pine needles on Kyushu island, Japan, after the 26th Chinese nuclear explosion test.

N. Matsuoka, N. Momoshima, E. Hirai, Y. Takashima
Radiochim. Radioanal. Letters, 57, 161 (1983)

第26回中国核実験後の九州におけるフォールアウトについて詳しく研究し、成層圏型フォールアウトの特徴を解明した。

☆ Measurement of Krypton-85 in the atmosphere with a portable apparatus.

T. Okai, Y. Takashima, N. Shiraiishi, N. Matsuoka
J. Radioanal. Nuclear Chem., 81, 161 (1984)

可搬型の大気中クリプトンの濃縮分離装置を製作して、測定の困難な大気中クリプトン-85を十分な精度で定量した。